

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ヒラタ大阪営業所	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市小路南町7街区1画	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,330 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	3,144 m ²	作成者	(株)AQUA建築設計室 清水 実
建築面積	1,515 m ²	確認日	2018年1月31日
延床面積	3,531 m ²	確認者	(株)AQUA建築設計室 清水 実

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (39 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 85% (39 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 85% (39 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.6
温熱環境	2.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.6
耐用性	3.1
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.5
地域環境	3.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府寝屋川市に新設される事務所、倉庫の計画である。高効率設備の採用により環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	事務室の内装は吸音性の高い仕上げ、建具は遮音性能の高いものを採用するなど音環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	高効率な設備機器を採用しエネルギー環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 光害の抑制に努め周辺環境に配慮している。
Q2 サービス性能	高めの階高設定、壁長さ比率に余裕を持たせフレキシビリティのある計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	再利用可能ユニット部材の採用により資源保護に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0145

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社ヒラタ大阪営業所					
		建設地	大阪府寝屋川市小路南町7街区1画地					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.4				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4				
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		特になし						